



大池中学校だより

学校教育目標 『 心豊かでたくましい実践力のある生徒を育てる 』

日々の活動の積み重ねにおける『部活動の成果』。そして、英語スピーチから『言葉の大切さ』、『部活動から得られるもの』について考えます。

① 女子テニス部の活躍。県大会4位入賞で東海大会団体戦出場へ！
 ② 英語スピーチコンテストに学校代表として参加した、3年1組 ○○○○さんの『英作文「Words are Magic」』から。

女子テニス部「東海地区中学生新人テニス大会(団体の部)」出場決定！



三重県大会を4位入賞で勝ち上がり、2大会連続(夏の中体連東海大会から連続)での東海大会出場おめでとうございます！新チームとなり5ヶ月。それぞれの思いを胸に頑張ってきた期間。下に記すコメントにもあるように、3年生の先輩たちに頼っていた時から、『自分たちがやらなければ…』という気持ちの変容。そして、顧問の先生や部活動指導員の先生からの温かい声掛け。チームのメンバーからの励まし。部活動を頑張る2年生・1年生の皆さんにも、校外活動として頑張る皆さんにもヒントになる子どもたちのコメントをぜひ読んでほしい。3年生の皆さんには、後輩たちの頑張りをこれからも応援し、支えてもらいたいと思います。

○【三重県中学生新人テニス大会(女子団体の部)結果】11/30(日) 四日市ドーム

- ・1回戦 大池中学校 3 - 0 富洲原中学校 勝ち上がり
- ・2回戦 大池中学校 2 - 1 晓中学校 勝ち上がり
- ・準決勝 大池中学校 1 - 2 山手中学校 惜敗
- ・3位決定戦 大池中学校 1 - 2 常磐中学校 惜敗 『県大会団体4位入賞！東海大会出場！』

○【三重県中学生新人テニス大会(男子団体の部)結果】11/30(日) 四日市ドーム

- ・1回戦 大池中学校 2 - 1 成徳中学校 勝ち上がり
- ・2回戦 大池中学校 0 - 3 茗野中学校 惜敗 『県大会団体8位ベスト8！おめでとう！』

【女子テニス部キャプテン・キャプテンの言葉から・・・】

■キャプテン 2年3組 ○○○○()さん

新チームになってキャプテンを決める際に、顧問の先生と部活動指導員の先生から、「○○()は、チームの誰ともコミュニケーションがとれるし、○○ならチームみんなをまもめることができるチカラがあるから大丈夫！」と言われて、不安だった気持ちが少しづつ自信が持てるようになってきた。そして、団体戦のメンバーに入れるようになった時でも「不安な自分にみんなが支えてくれたから今の自分がある」と思う。キャプテンとしても団体戦のメンバーとしてもプレッシャーはあるけど、チームのみんなと試合やテニスを楽しみながらできるように頑張っていきたい。

■副キャプテン 2年4組 ○○○○○()さん

大会に向けて練習するときに、不安で自信が持てなかつた自分に部活動指導員の先生から「自分が頑張らなかんのやぞ！」という言葉で自信が持てるようになってきた。副キャプテンとしても団体戦のメンバーとしても全力を出しきることができた。東海大会でもチームみんなで頑張っていきたい。

■副キャプテン 2年5組 ○○○○()さん

県大会では顧問の先生から「○○()が一番手だよ」と言わされてプレッシャーと緊張でいっぱいだったけど、チームのみんなから『チームで出るんやで大丈夫！』って言われた言葉で自分の心がすごくほぐれた。そこから自分も『チームの一員だから』という気持ちが強くなつて試合に向かえた。

大池中文化祭から2ヶ月。文化祭で英語スピーチとして堂々と発表をしてくれた〇〇さん。その英作文の内容を、あらためて全校のみなさんに日本語文としても紹介したいとずっと思っていました。だから、あらためて、いま紹介します！ その理由は…

高校入試などの進路選択・進路実現に向けて頑張っている3年生のみなさん。ときには悩んだり不安になったり、人と比較をしてしまったり…。また、2年生と1年生のみなさんは、通知表をもらって「よし、頑張ろうと思ったり、不安になったり…」、また、部活動や校外活動で一生懸命に頑張っている人や、最近自分に自信がなくなってきたと感じてる人がいたり…。

英語スピーチを聴いて…。英語スピーチとして発表をしてくれた 3 年1組〇〇さんの英作文を今一度、全校生徒のみなさんにも、保護者の皆さんにも、先生方にも文字として読んでほしいと思います。今回はすべて日本語訳をした〇〇さんの文書を原文のまま(一部英文を省略した部分もあります)紹介します！何かを感じてもらえたなら嬉しいです。



中学生という一番心身の成長を感じる時期の裏にある心の葛藤(かとう)や自分と人との比較、自分を見失いそうになる心のモヤモヤ感。でもそんな時に出会った「ドラマとの出会い」、「部活動の顧問の先生からかけられて自分に勇気がわいた言葉」、「部活動を3年間続けてきて学び得たこと」。このような経験から少しずつ自己肯定感(じここうていかん)が高まることにつながって、前を向いて頑張ろうと思えるようになってきた自分。

自分の将来や進路に不安になっていた自分が、自分の可能性を信じて、自分で自分の物語を創りたいと考えることができるようになった自分…。(作文より)

【三泗地区中学校英語スピーチコンテスト出場の3年1組 〇〇 〇〇さん】

【英作文コンテスト出場の3年2組〇〇 〇〇さん、3年3組〇〇 〇〇さん。YEFのThomas先生】

【 Words Are Magic 言葉は魔法 〇〇 〇〇(Oike JHS) 】

All of us are authors. How do you write your story?

私たちは皆、物語の作者だ。あなたは自分の物語をどう書く？

Other people, like teachers or parents always say, “Do this.” “Do that.” Doesn’t that stress you out?

先生や親など他人が「これをしなさい」「あれをしなさい」と言う。それってストレスじゃない？

I hated to lose and I often compared myself to others, whether it’s in volleyball or in my studies.

私は負けず嫌いで、部活や勉強のことによく他人と自分を比べてしまう。

“She’s more skilled than me.” “He’s smarter than me.” “Why can’t I be as good as them?” “Why can’t

「あの子は私より上手だ。」「あの子は私より賢い。」「なんで私はあの子たちのように上手になれないんだろう？」

I be perfect?” And sometimes, I ended up thinking “It doesn’t matter how hard I try.”

「なんで私は完璧になれないの？」そして時々、「どれだけ頑張っても意味ないや。」と考えるのをやめてしまう。

It was times like these I got frustrated when people told me, “Don’t give up! You got this!” or “There’s always next time!”

人に「あきらめないで!できるよ!」「また次がある!」と言われると、モヤモヤしてしまうこともある。

While they’re living their “happily ever afters.”, it’s like I’ve been in the middle of a tragedy.

みんなが「幸せに暮らしました」な生活をしていると思うと、自分は悲劇の渦中にいるように感じてしまう。

I always felt like that until I saw this TV drama. 私はこのドラマを見るまでずっとそんな風に感じていました。

The main character, Mai, had just started working as a police officer. She lost confidence in her work and she was thinking about quitting,

主人公のマイは、警察官として働き始めたところでした。彼女は自信をなくし、仕事をやめようと考えていました。

Then her mentor told her “Challenges will come, you’ll overcome them. That’s how we grow.”

そんな時彼女の先輩が「たくさんのがんばりがきても、それを乗り越えていく。そうやって成長していくんだよ。」と彼女に言いました。

After that, she kept trying, no matter how many times it took. And eventually, she found her way.

その後、彼女はどれだけ時間がかかるか挑戦し続けました。そして自分の道を見つけたのです。

These words encouraged me. I realized that I don’t have to be perfect.

この言葉は私を勇気づけてくれました。私は、自分も完璧でなくてもよいのだと気づくことができました。

Mistakes are just chances for me to learn. They’re how I can grow.

失敗は学ぶためにあるチャンスなのです。そうして私は成長できました。

【 以下からは、日本語文を中心に一部英文も紹介します。 】



私はこのような経験を部活でもたくさんしました。

良い選手になりたくて一生懸命に練習しましたが、それでも試合ではうまくプレーすることができませんでした。

自分を責め続け、私も部活をやめようかと考えていました。しかし、顧問の先生が何度も助けてくれました。たくさんアドバイスをくれて、励ましてくれたのです。

再び練習に集中できるようになりました。そして、チームも勝てるようになっていきました。

この経験から、私は自分を超える方法やあきらめないこと、自分を信じることを学びました。

マイと私は似ていたと思います。私の経験が今の私を作っています。

世の中には否定的なことを言う人がたくさんいます。

もしかしたら肯定的なことを言う人よりも多いのかもしれません。

No matter what people tell me, I think it's important to believe in my own possibilities.

人が何と言おうと、私は自分のもつ可能性を信じることが大切だと思っています。

It felt like a new chapter was starting in my story.

私の物語の新しい章が始まったような気がしました。

If someone tells me, “You can't do it.” Then I'll say “Watch me”. I want to write my story by myself.

誰かが「あなたならできるよ」と言ったら、私は「見てて」と言う。私は自分で自分の物語を描きたい。

Words are magic. They have the power to change the world by moving people's heart.

言葉は魔法です。言葉は世界を変える力があります。

We need to understand the weight our words have

私たちは言葉の持つ重さを理解しなければなりません。

そこで、2つお伝えしたいことがあります。

私の人生の中でも、いいことも悪いこともたくさんありました。

それらを乗り越えてきたからこそ、今の私に伝えられることがあります。

Now, I want to tell you these words.

ここでこの言葉をお伝えしたいです。

“By embracing both the good and bad in your life, it can become a big rainbow.”

「明るい人生も暗い人生も、受け入れることで大きな虹になる。」

It's important to accept yourself for who you are. It will help you achieve your dreams.

自分自身を受け入れることは大切なことです。自分の夢や目標を実現する手助けになるでしょう。

And if you don't have any dreams or goals now, that means you're now thinking about yourself

seriously.もしあなたに今、夢や目標がなくても、今は自分についてよく考える時期なのだと捉えたらいいと思います。

I was also worrying about my future before I became 3rd grade in JHS. Then, I found these words.

私も中学3年生になるまでは、将来について悩んでいました。そんな時にこの言葉を見つけました。

I have another thing I want to tell you. “Keep pushing forward until you find your reason for

living.”もうひとつお伝えしたいのはこちらです。「何のために生まれて、何をして生きるのか、わかるまでもがけ」という言葉です。

It's important to keep trying to find our dream or goals.

夢や目標を見つけるために挑戦し続けることが大事だということです。

To find them, we have to think about why we were born and what we do in our lives.

私たちはなぜ生まれてきて、何をして生きていくべきかを考えなければなりません。

Thanks to these words, I could decide my way.

この言葉のおかげで、私は自分の道を定めることができました。

Even if you don't have the answers now, you will find them by trying hard.

たとえ今、答えが見つからなくても、一生懸命やってみることで見つけられるかもしれません。

My story has not finished yet. What kind of story will you write?

私の物語はまだ終わっていません。あなたはどんな物語を描きますか？

○○ ○○さんに了承を得て、英語スピーチコンテスト出場時の英作文を紹介しました。素敵な英作文です。

帰り学活等の時間だけでは読み切れないかもしれません。帰宅してからもう一度読み返してもいいと思います。場合によつては、担任の先生に伝えてから、「朝の読書の時間」に読んでよいと思います。2年生、1年生の皆さんの中で、英語スピーチコンテストってどんなものなのか教えてほしい・・・。

英作文コンテストってどんなものなのか、またテーマはなんなのかを教えてほしい・・・興味をもった人がいたら、英語授業の担当の先生、YEFのThomas先生にたずねてみてくださいね。

